



開院80周年記念 大運動会

## 「病院医療機能評価」受審から学ぶ

国立がん研究センターは、2018年9月に「がんと診断された人は過去最多で、高齢化に伴って増加は続く」と予測している」と発表しました。私の周囲にも病と戦っている人、戦った人など様々です。つい最近、当院の職員が障害の出ることが予測される大きな手術をしました。この手術に踏み切ったのは、周囲の温かい励ましと、もう一つは患者と主治医のコミュニケーションの良さです。手術は成功し、予測したよりはるかに僅かな障害は訓練で回復を目指すことになり、本人の満足度は大きい結果となりました。

ここで医療従事者の立場の私は、患者と医療側のコミュニケーションが治療に与える影響を考えました。患者と医療側とでは、医療の情報がどうしても医療側に多いため、患者は医師に依存せざるを得ない状況が日本の医療で長く続きました。最近では、「説明と同意」という言葉を耳にすることが多いように、治療方針、治療によって生じる副作用・障害等の問題を説明し、患者が治療を選ぶ仕組みとなりました。セカンドオピニオンという言葉も生まれました。しかし、説明を受けたからといって、内容によっては治療を受ける決心はそう簡単に出来るものではありません。そこで患者の心に一番影響を与えるのは、いかに医療従事者が患者の立場となって説明をしているかです。

当院は、ソフト面の充実にと5年に一回の病院機能評価を受審しており、本年度は4回目に臨みました。これは「患者の意見を聞く窓口」「安全な医療を提供するためのマニュアル」など、サービス面を含む患者中心の医療をする体制があるかどうかを審査するもので、治療をする病院とそれを受ける患者とのつながりを客観視してもらうことになります。院内で働く我々は「患者中心の医療をしている」と思いやすいのですが、受審するとハッと気が付くことがあるように、相手の立場に立つことが如何に難しいかを考えさせられます。今回、私達は「精神科における危険物とは何か」を再検討しました。ここで重要な考え方は、勿論安全のための最低限のルールは必要ですが、管理するのではなく自由裁量とし、出てきた問題を患者さまと共に「考える」「悩む」そしてまた「考える」・・・これを丁寧に繰り返すということです。このことが、医療現場の良いコミュニケーションに繋がると考えています。

当院は地域の皆様を支えられながら開院80周年を迎えることとなりましたが、今後も病院を客観視する作業を続け、「一人ひとりの患者さまの幸せのために」の病院の理念を求め続けていきたいと思っています。

看護局長 森 澄美江

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために  
～ For the Patients ～



# 精神保健医療福祉情報

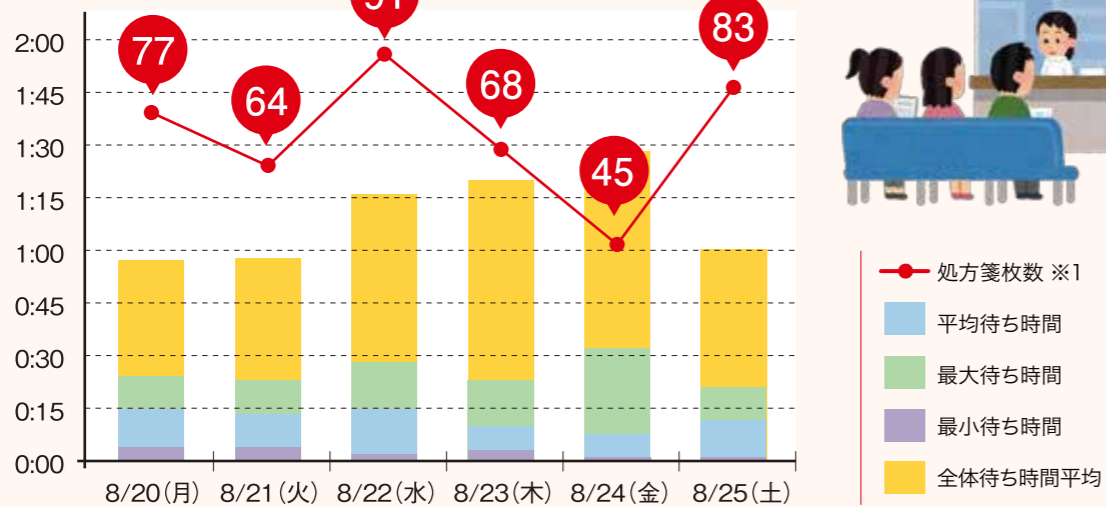
## 平成30年度外来調剤待ち時間調査のご報告

外来患者さんの利便性の向上を目指して、当院では毎年「外来調剤待ち時間調査」を実施しております。今年度は8月20日(月)～25日(土)の期間に実施いたしましたので、ご報告いたします。

### ■平成30年度調査結果

日付(平成30年)	処方箋枚数 ※1	平均待ち時間	最大待ち時間	最小待ち時間	全体待ち時間平均	平均投薬日数	合計調剤数
8/20(月)	77	0:14	0:24	0:04	0:57	31.4	428
8/21(火)	64	0:13	0:23	0:04	0:57	29.9	
8/22(水)	91	0:14	0:28	0:02	1:16	26.2	平均待ち時間 0:11 (参考:前年度0:09)
8/23(木)	68	0:09	0:23	0:03	1:19	28.3	全体待ち時間平均 1:09 (参考:前年度1:16)
8/24(金)	45	0:07	0:32	0:01	1:28	22.0	
8/25(土)	83	0:11	0:21	0:01	1:00	29.2	

[処方箋枚数 ※1]



※1 老人施設・職員除く

### ■平成30年度考察

今年度の外来投薬待ち時間は平均11分で、昨年度の平均9分から2分増加しました。要因として考えられることは、以下の点です。

- ① 処方せんへのデータ転送時間が1分保留されるようになった(医師の処方せん訂正猶予時間ができた)
- ② 投薬日数が長くなった
- ③ 処方せん枚数が多くなった(合計調剤数昨年比+21枚)  
昨年からの変化としては、新しい分包機が導入され分包時間は早くなったと感じます。

### ■まとめ

この調査結果をもとに、より良い医療サービスを提供し、患者さんにとって受診しやすい快適な環境作りにつなげていくため、職員一同取り組んでいきたいと思います。



# 病院TOPICS

## 災害義援金の寄付を行いました

今年、7月の「西日本豪雨」、9月の「北海道胆振東部地震」など、大規模な災害が相次いで発生いたしました。

被害に遭われた方々、ご関係者の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

当院では、職員互助会である「むつみ会」が主体となり、少しでもそれぞれの地域の皆さまのお力になればと、会員の協力を募り、岡崎市役所・地域福祉課様を通じて、日本赤十字社へ寄付を行いました。

一同、被災地の皆さまの生活が、一日も早く平穏を取り戻すことをお祈り申し上げます。



平成30年  
7月西日本豪雨  
災害義援金  
..... 111,773円



平成30年  
北海道胆振東部地震  
災害義援金  
..... 78,708円

## 職員研修

職員の技術・知識を向上し、より良い医療サービスが提供できるよう、当院では職員研修を定期的に行っています。広報誌にて、研修内容をご紹介します。

第146回  
院内研修会

テーマ  
「身体拘束の場面をみんなで考えよう」

開催日:平成30年7月31日(火)  
担当:行動制限最小化委員会

「身体拘束の場面をみんなで考えよう」というテーマで、グループワーク形式

の研修を行いました。

はじめに、職員による身体拘束の実演動画が上映し、その後グループに

分かれて間違いや気づいたことを討論しました。各々

グループで活発に議論を繰り広げ、今後の業務でも

生かされる有意義な議論が行われたかと思えます。



第147回  
院内研修会

テーマ  
「感染対策における働き方改革」～建設的撤退と欧米の最新情報～

開催日:平成30年9月28日(金)  
担当:院内感染防止対策委員会

欧米での感染に対する組織としての意識や取り組み、使用している医療機器について委員会のメンバーが解説。

例えば、本来看護師がやるべきでない医療環境清掃及び消毒を効率化しようとする自体が非効率であることや、

5回違反したら解雇になる海外の病院など、具体例を交えて紹介しました。感染に対する意識は医師、看護師だけでなく

他の部署にとっても重要なものなので、今回の研修は非常に有意義なものになりました。



# 行事報告



「ダイケアー泊旅行」  
7月24日(火)～25日(水)

メンバーと相談して「天の丸」へ行ってきました。今年には宴会で、「おどるボンポコリン」を歌って踊って盛り上がった旅行でした。



「開院80周年記念 夏まつり」  
8月8日(水)

患者さん、ご家族、そして地域のみなさまに大勢ご来場いただき、盛大に開催することができました。80周年を記念して、例年より多くの花火を打ち上げてお祝しました。



「希望会バザー」 9月6日(木)・7日(金)

名古屋市を中心に17施設が参加し、手工艺品、陶芸、トールペイント、お菓子などを販売しました。当院からも参加し、手芸品を中心に販売し、お客様とのやりとりを楽しみました。



「第5回 星城カップ(フットサル大会)」  
9月10日(月)

普段練習するホールより、とても大きな「武田テバ オーシャンアリーナ」を会場に行われました。緊張しながら試合を行ない1勝することができ、良い経験ができました。



「開院80周年記念 大運動会」  
10月20日(土)

少し風の強い日でしたが、素晴らしい晴天のもと、1800人もお集まりいただきました。患者さん、職員、地域の子供も競技に参加し、みんなで仲良く、元気よく、楽しい時間を過ごすことができました。



## おすすめコーナー

## 今号のおすすめ 「運動」

みなさんは運動していますか？若い頃は運動していたよ、という人も、今ではやろうと思ってもなかなかできない人も多いのではないのでしょうか？

自分も10年前までは子ども達と空手をやっていたのですが、やめてからは運動不足を自覚していました。そんな中、今年の4月にスポーツクラブオープンの広告を目にし、思い切って入会することにしました。

スポーツクラブには、筋トレマシン、スタジオ、ホットヨガスタジオ、プール、浴室などがあり、またプログラムも充実しています。スタジオプログラムには、J-POP、ZUMBA、ボクササイズ、エアロビ、ステップなど、音楽に合わせて体を動かす有酸素運動や、バランスボールを使用した体操、男性もできるヨガもあります。

最初のうちは、プログラムによってきついものもありましたが、汗をかく気持ちよさがストレス発散になっています。また、同じ

プログラムでもインストラクターによって内容が違うため飽きずに通え、部活感覚で楽しく体を動かすことができるようになりました。

入会して半年経ちました。今では体力もつき、基礎代謝量も増え、体重も少しだけ減りました。今後の体の変化が楽しみです。また、みなさんご存知のイベントや余興で、スポーツクラブのトレーニングを活かしてキレイのダンスをお見せできるかと思うので、お楽しみに！

さあ、いよいよ秋本番。運動するにはよい季節です。みなさんも何か運動してみたいはかがでしょうか。

看護部 中山

※次号は総務部の羽柴さんが担当します。よろしくをお願いします。



編集  
後記

今年の夏は記録的な猛暑続きで、熱中症など体調を崩す人も多かったと思います。先日、テレビで『明日の最高気温は“38℃”です。』の38℃が赤色でなくて青色にしたら、少し涼しくなった気がします…とっていました。なるほど!?!?

広報委員 辻川

